



株式会社 鈴木

SUZUKI CO.,LTD.

東証二部 code:6785

本日のご説明内容

I 会社概要

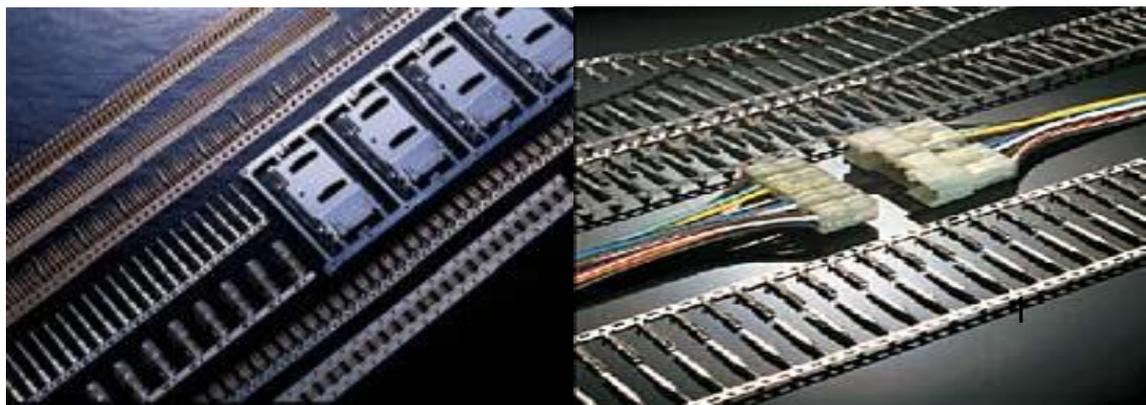
II 事業と強み

III 業績

M I C R O N &
E L E C T R O N

2013年12月7日

個人投資家向け
会社説明会



会社概要



| | | | | |
|-----------------|--|---|--|--|
| 商号 | 株式会社鈴木 | | 英語表記: SUZUKI CO., LTD. | |
| 設立 | 1933年6月10日 | 資本金及び 発行済株式総数 | 14億3,530万円 (6月決算) 6,195,000株 (100株単位) | |
| 代表者 | 代表取締役社長 鈴木教義 | 上場 | 東京証券取引所市場第二部 | |
| 事業所 | 本社 日滝原工場 生産システム工場 | 長野県須坂市大字小河原2150-1 長野県須坂市大字日滝字虫送3500-8 長野県須坂市大字小河原2014-5 | | |
| 関連会社 (連結子会社) | S&Sコンポーネンツ株式会社 (2006年設立: 須坂市) 【持分比率: 51.0%】 鈴木東新電子(中山)有限公司 (2007年設立: 中国広東省) 【持分比率: 80.0%】 鈴木東新電子(香港)有限公司 (2007年設立: 中国香港) 【持分比率: 80.0%】 | | | |
| 従業員数 | 【連結】 666名 【単体】 488名 (臨時雇用者数含まず) | | | |

本社外観



皆 様



メーカー

自動車部品
メーカー

電子部品
メーカー

機械装置
メーカー

医療機器
メーカー

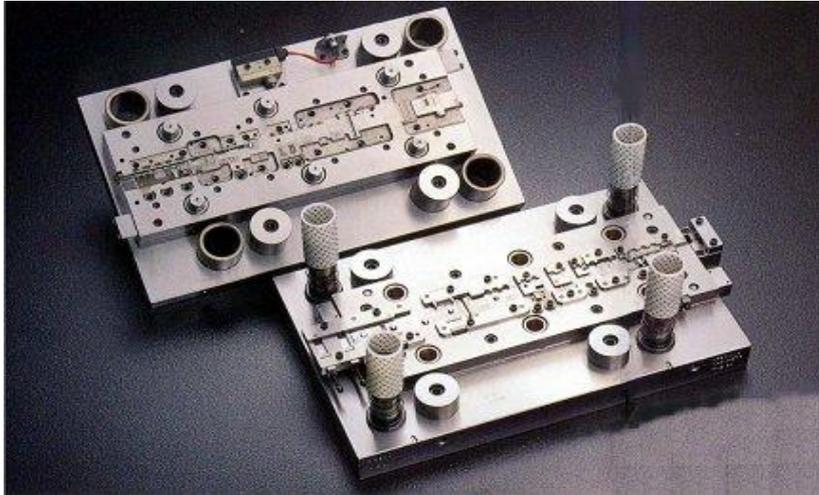
お取引先



～ 微細金型技術を核とした精密プレス部品の製造～

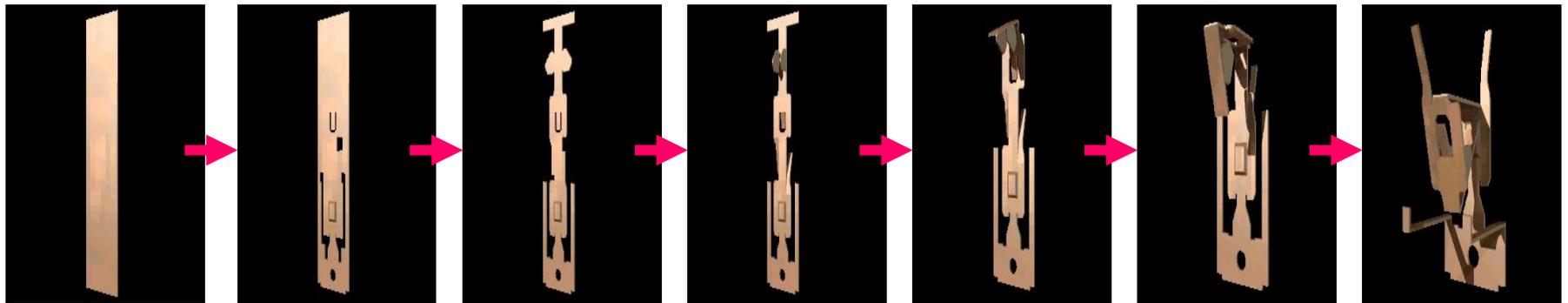
「金型」

展開及び組付け時の金型の外観



「プレス加工」

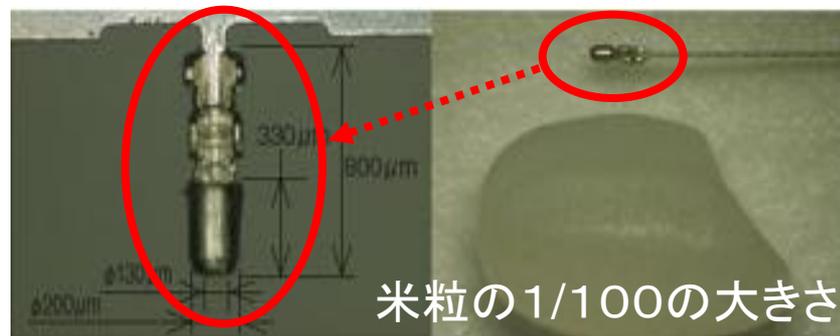
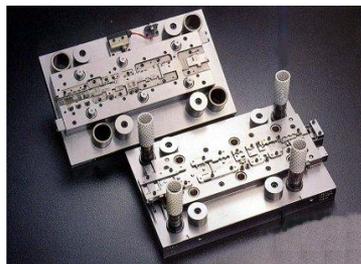
一般的な加工工程のレイアウト



金型:

業界最高レベルの精密
金型の設計・製造

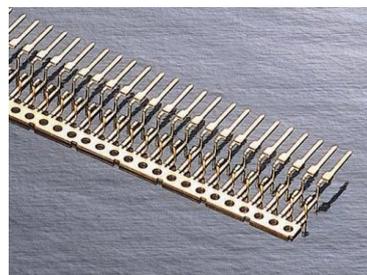
～長年の研鑽による匠の技: 当社のコア技術～



部品:

電子部品や自動車
電装部品の量産加工

～金型を用いた精密部品の量産加工～



機械器具:

自動省力化機器の設計開発
医療関連器具の組立

～金型・部品事業で培った技術ノウハウの応用～



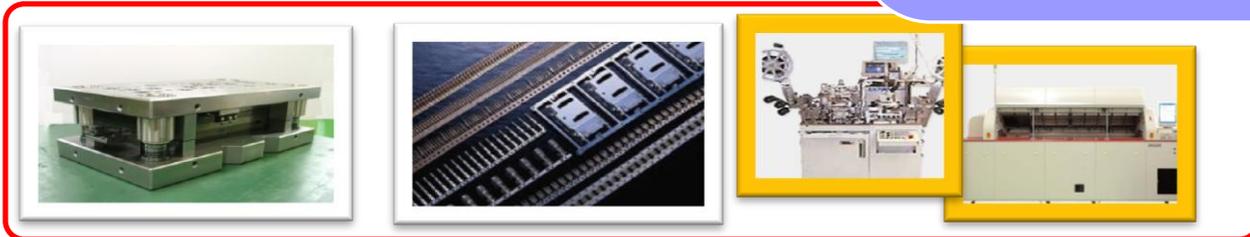
創業



精密金型の設計・開発



精密金型を用いての
電子部品の量産加工

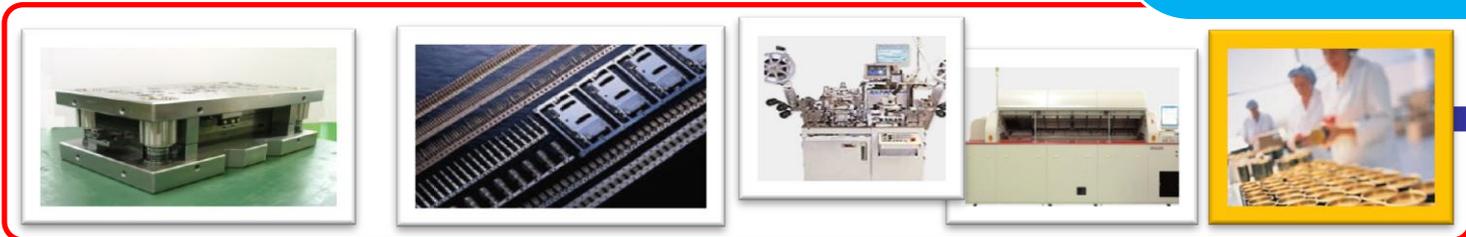


検査装置・省力化機器の開発
自動機の開発



新たな領域(医療関連)
へ展開

現在



顧客

中国(広東省)

鈴木東新電子(中山)



日本(長野県)

本社



生産システム工場

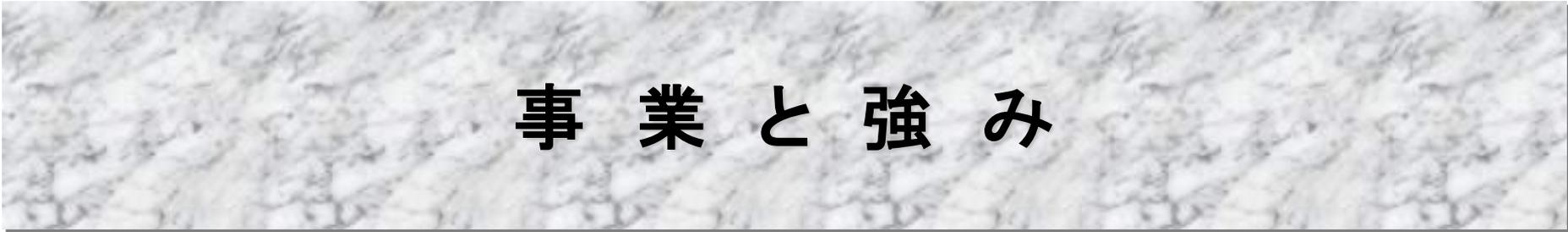


日滝原工場



インドネシア

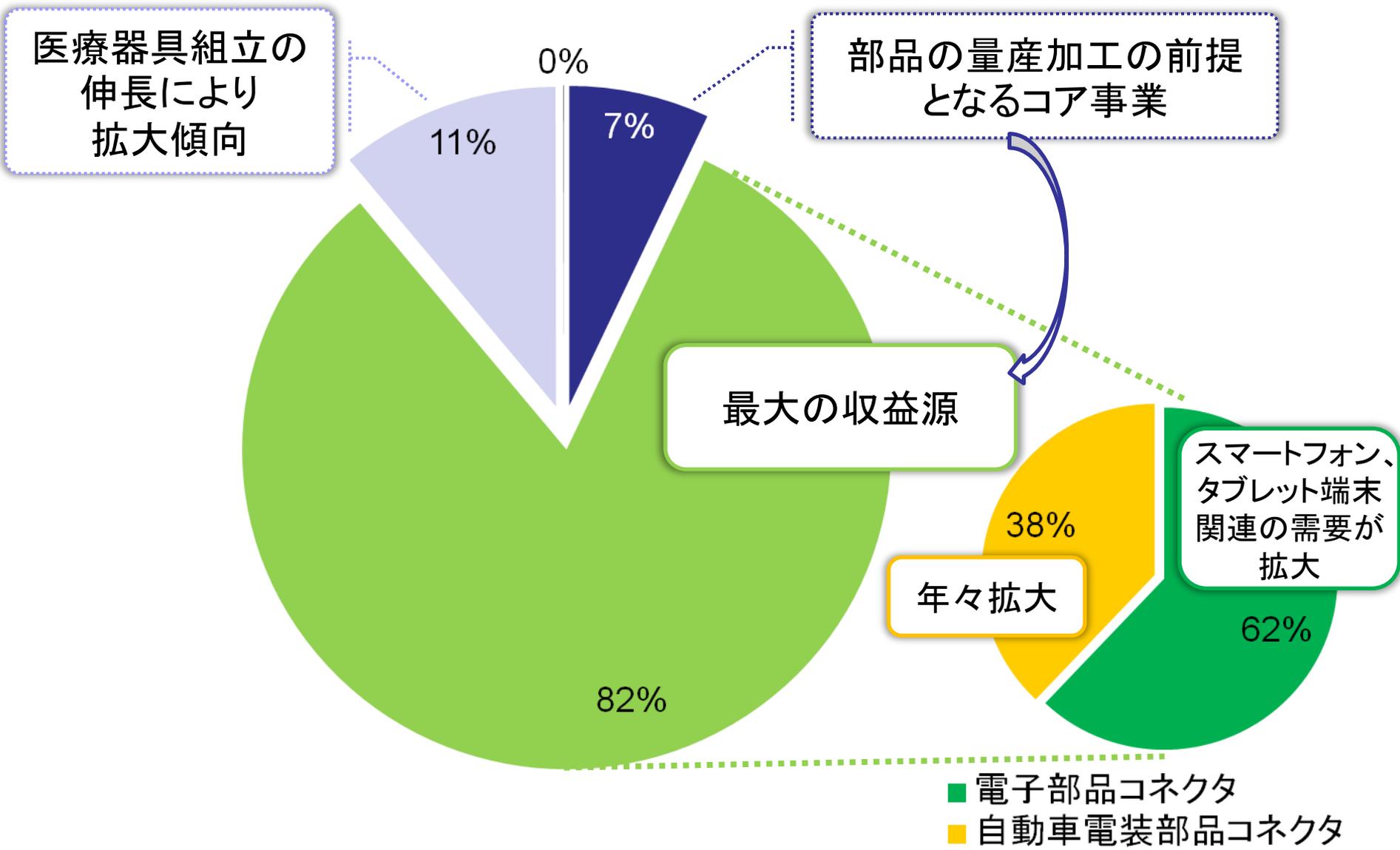
- 新たな生産拠点として、合併会社の設立を決定(2013年9月)
- 電子部品・自動車部品の製造・販売を予定



事業と強み

売上高の状況

2013年6月期 連結売上高 **18,581** 百万円



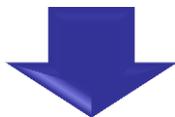
最高レベルの
精密金型の設計・開発力



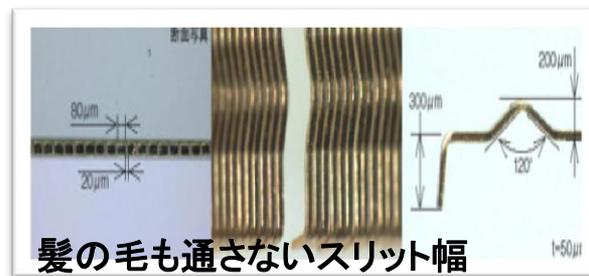
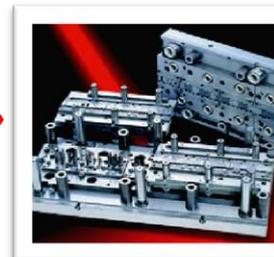
徹底した精度の追求に
より蓄積された技術



卓越した
技術者の技能



多彩・高度な
新技術



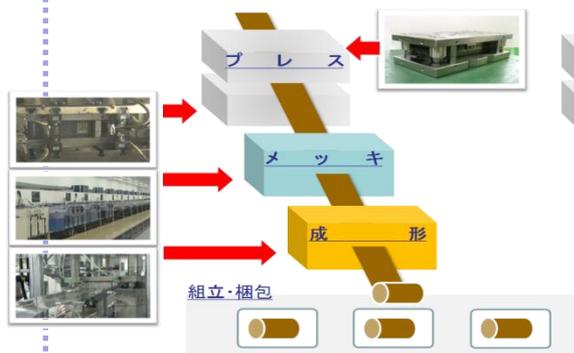
高度化するニーズに応える金型作りに注力

国内最大規模の設備



様々な顧客ニーズに対応できる生産体制

一貫した生産体制



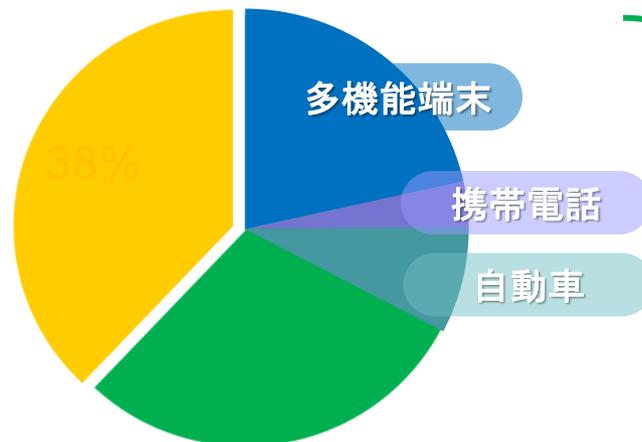
合理化の追求



自動省力化機器の導入

2013年6月期 部品部門の売上構成

生産量・品質面・コスト面で競争の先を行く生産体制の確立



多機能端末＝スマートフォン・タブレット等
携帯電話＝フィーチャーフォン

需要の旺盛な部品の増産対応

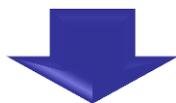
■ 自動車電装部品コネクタ ■ 電子部品コネクタ

— 実装機 —

＜SMT関連装置および半導体関連装置＞



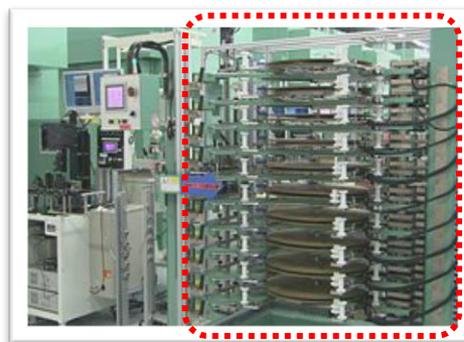
お客様の求める機能を付与
＝カスタマイズ仕様による提供



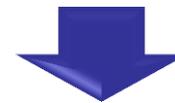
高付加価値に対する高い評価

— 専用機 —

＜自動巻取り・自動検査等の合理化装置＞



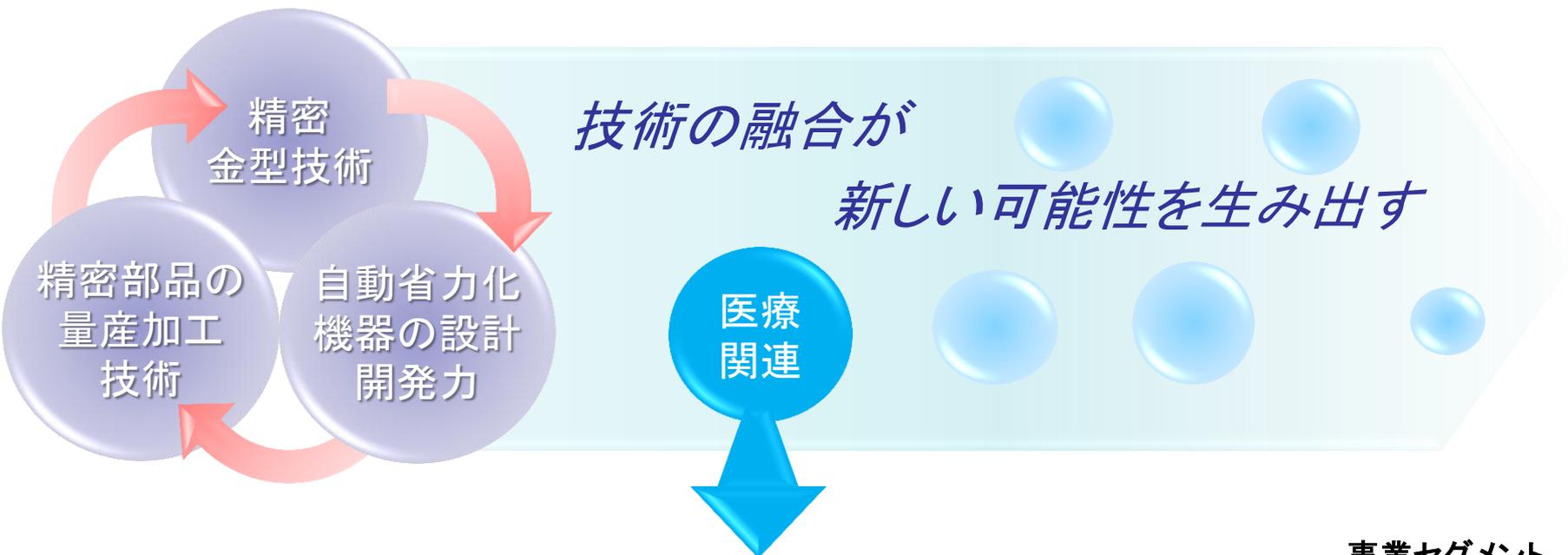
生産現場毎に、最適な合理化装置
を設計・開発



合理化による生産効率の向上



リピートオーダーによる取引の拡大へ

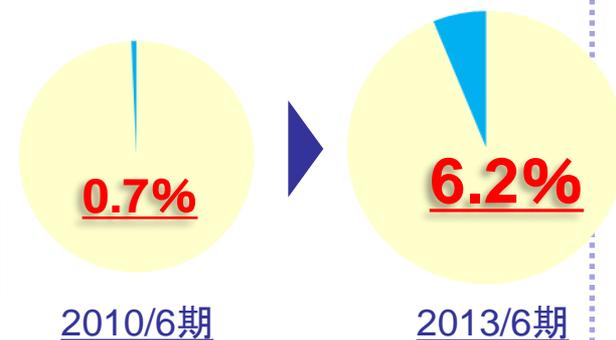
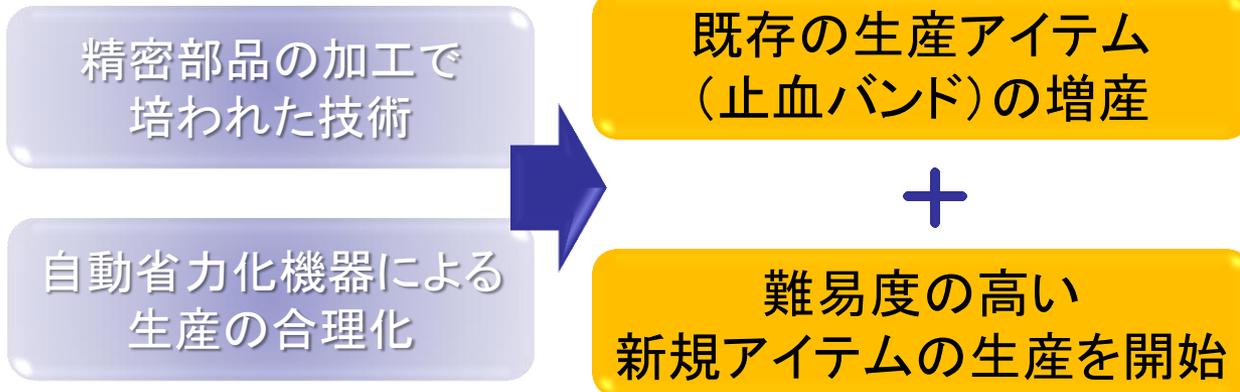


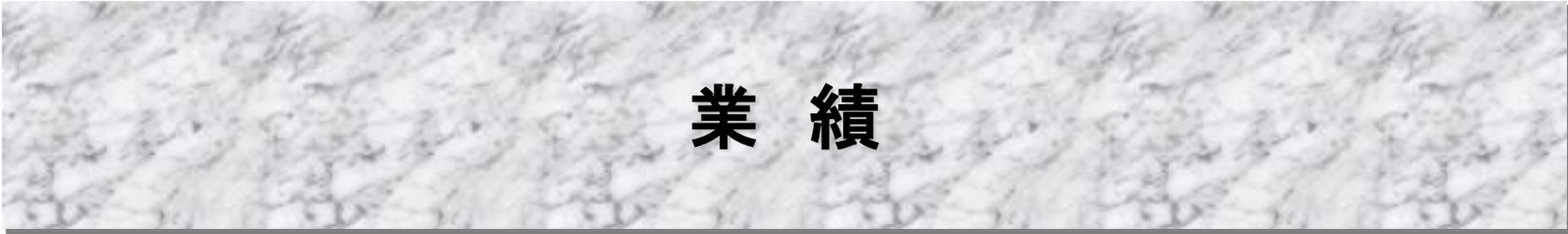
— 医療機器組立事業の拡大 —

事業セグメント



連結売上高に占める割合



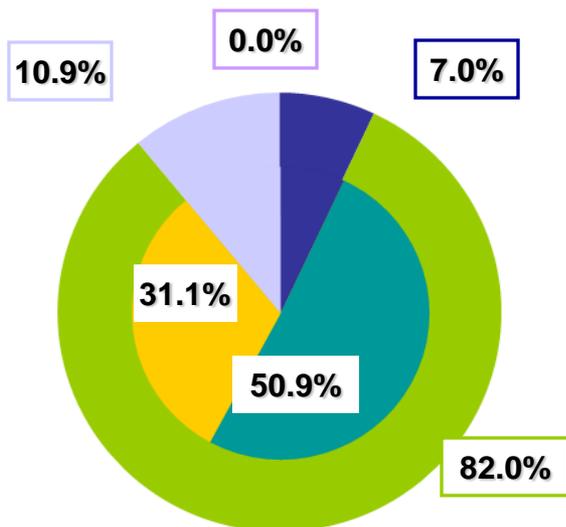


業績

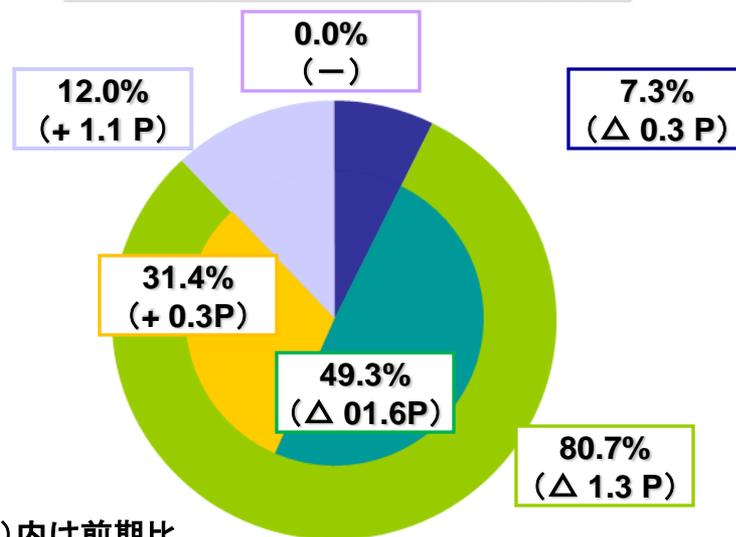
セグメント別売上高

| 百万円 | 2013/6期 | | 2014/6期 予想 | | 前期比 | |
|---------------|---------|-------|------------|-------|------|------|
| | 金額 | % | 金額 | % | 金額 | % |
| ■ 金型 | 1,273 | 7.0 | 1,354 | 7.3 | 81 | 6.4 |
| ■ 部品 | 14,928 | 82.0 | 14,991 | 80.7 | 63 | 0.4 |
| ■ 電子部品コネクタ | 9,262 | 50.9 | 9,153 | 49.3 | △109 | △1.2 |
| ■ 自動車電装部品コネクタ | 5,666 | 31.1 | 5,838 | 31.4 | 172 | 3.0 |
| ■ 機械器具 | 1,994 | 10.9 | 2,228 | 12.0 | 234 | 11.7 |
| ■ その他 | 5 | 0.0 | 7 | 0.0 | 2 | 40.0 |
| 合計 | 18,201 | 100.0 | 18,581 | 100.0 | 380 | 2.1 |

2013/6期 セグメント別売上高構成



2014/6期 セグメント別売上高構成



()内は前期比

2013年6月期

2014年6月期見通し

増減率

売上高

18,201 百万円

18,581 百万円

+2.1%

営業利益

1,064 百万円

995 百万円

△6.5%

下段: 利益率

5.8%

5.4%

経常利益

1,162 百万円

1,046 百万円

△ 10.0%

下段: 利益率

6.4%

5.6%

当期純利益

512 百万円

400 百万円

△ 21.9%

下段: 利益率

2.8%

2.2%

業績の推移

(単位:百万円)

売上高 経常利益

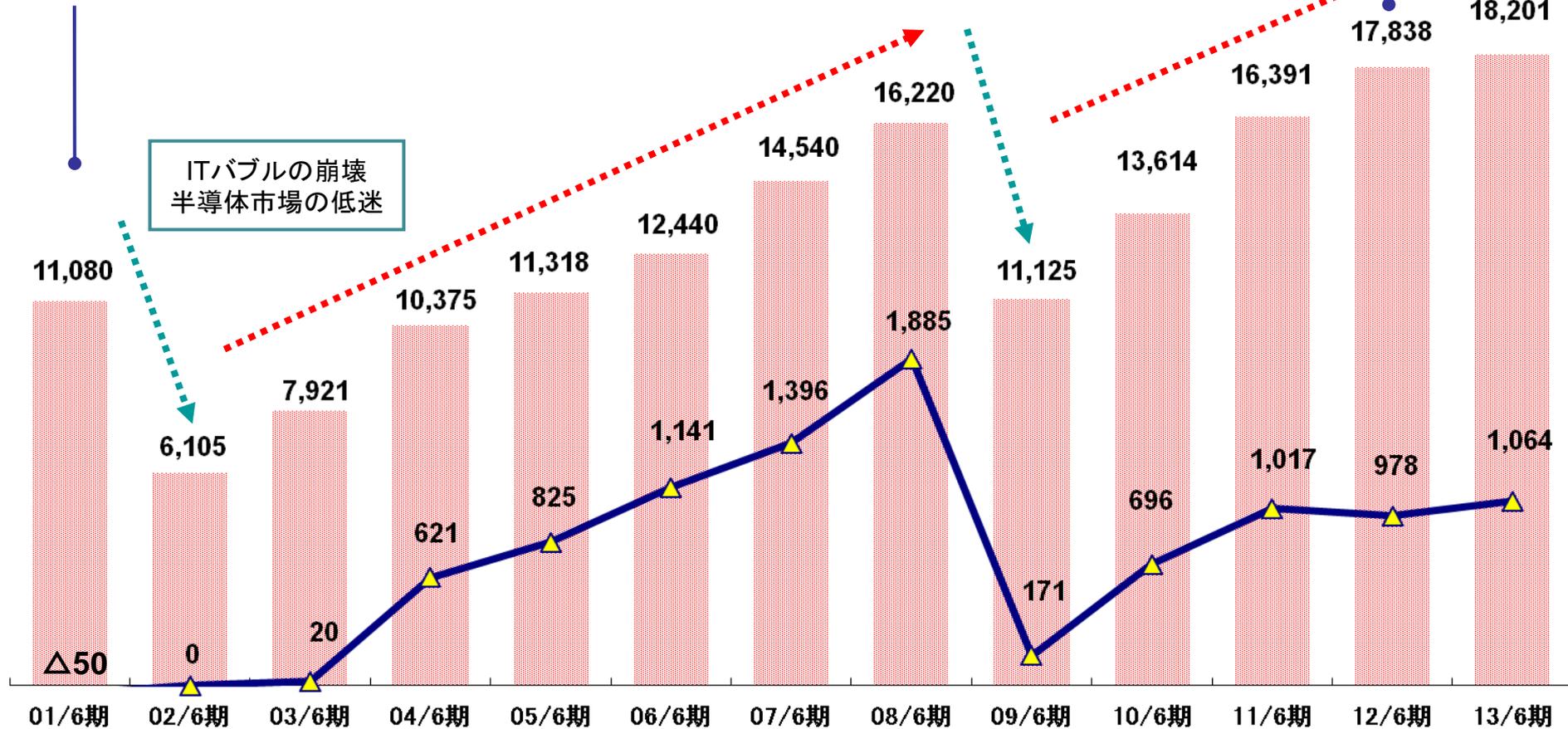
創立80周年

株式店頭登録
(現東証JASDAQ)

ITバブルの崩壊
半導体市場の低迷

リーマン・ショック

東証二部へ上場

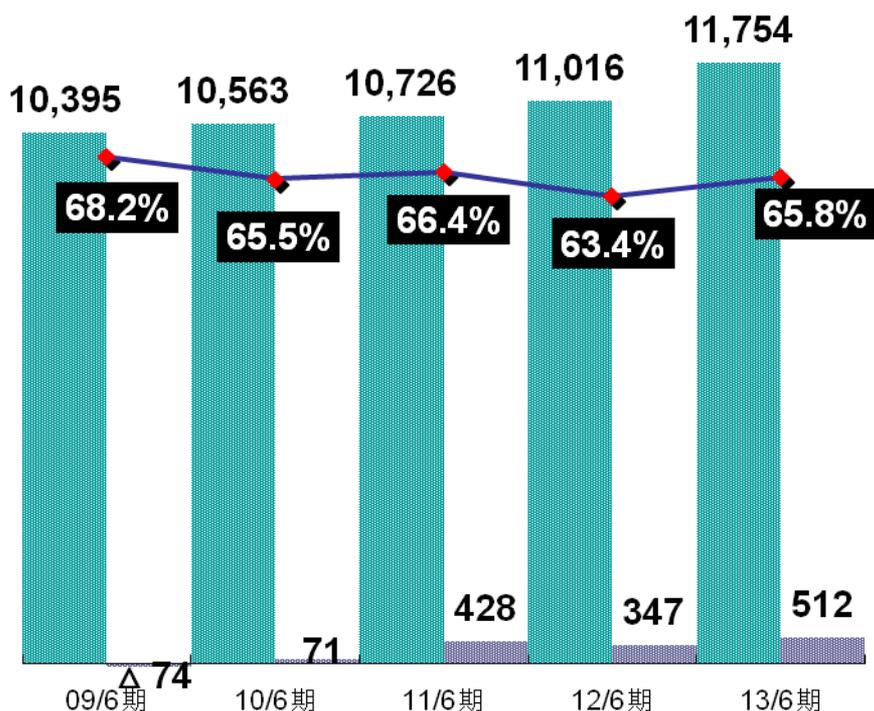


自己資本比率は高水準で維持、不要な債務の圧縮で、健全な財務体質を維持し、経営基盤の安定化を図っております

純資産の状況

単位:百万円

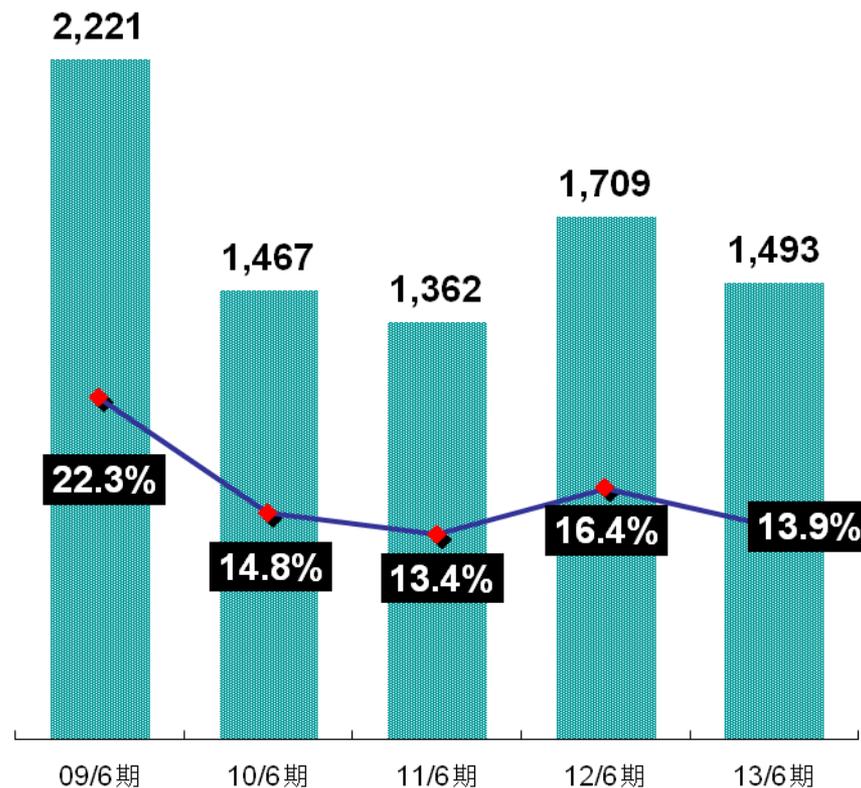
■ 純資産合計 ■ 当期純利益 ◆ 自己資本比率



有利子負債の状況

単位:百万円

■ 有利子負債残高 ◆ 有利子負債比率



株主の状況

●大株主情報 (2013年6月末日現在)

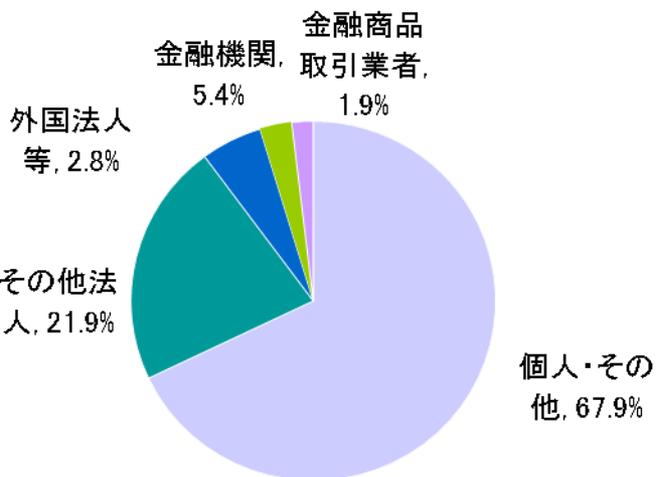
| 株主名 | 持株数(株) | 議決権比率(%) |
|-----------------|-----------|----------|
| 有限会社スズキエンタープライズ | 1,023,600 | 16.52 |
| 鈴木教義 | 874,720 | 14.11 |
| 鈴木照子 | 611,000 | 9.86 |
| 従業員持株会 | 368,208 | 5.94 |
| 竹田和平 | 164,500 | 2.65 |
| 株式会社八十二銀行 | 155,000 | 2.50 |
| 高野忠和 | 147,600 | 2.38 |
| 小島まゆみ | 109,000 | 1.75 |
| 草間秋男 | 84,420 | 1.36 |
| 商工組合中央金庫 | 80,000 | 1.29 |

国内上場企業の
大株主(100社以上)

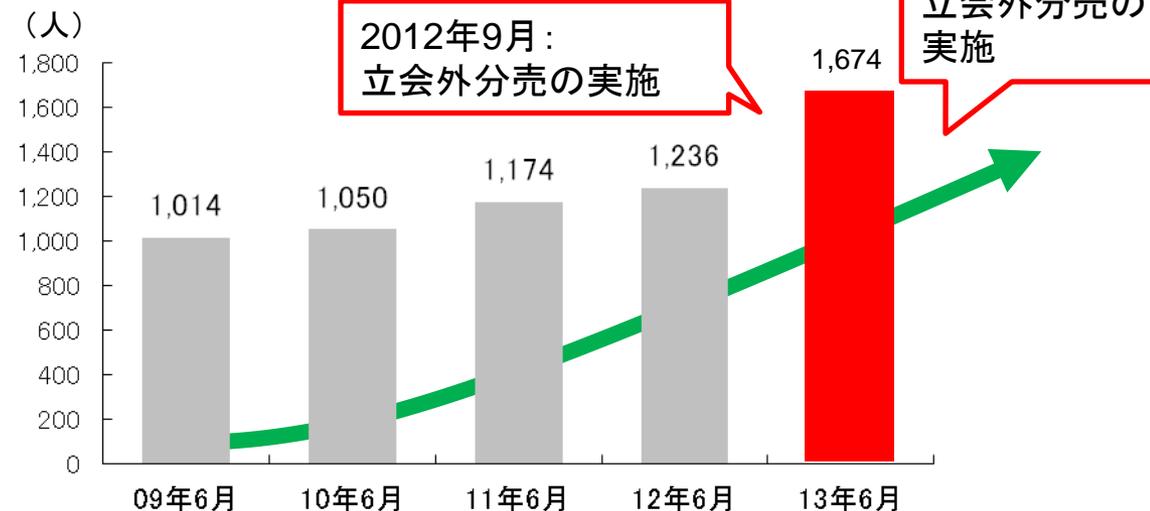
投資対象

- 好配当企業
- 低PBR
- 海外でも通用する技術

●株主数の推移

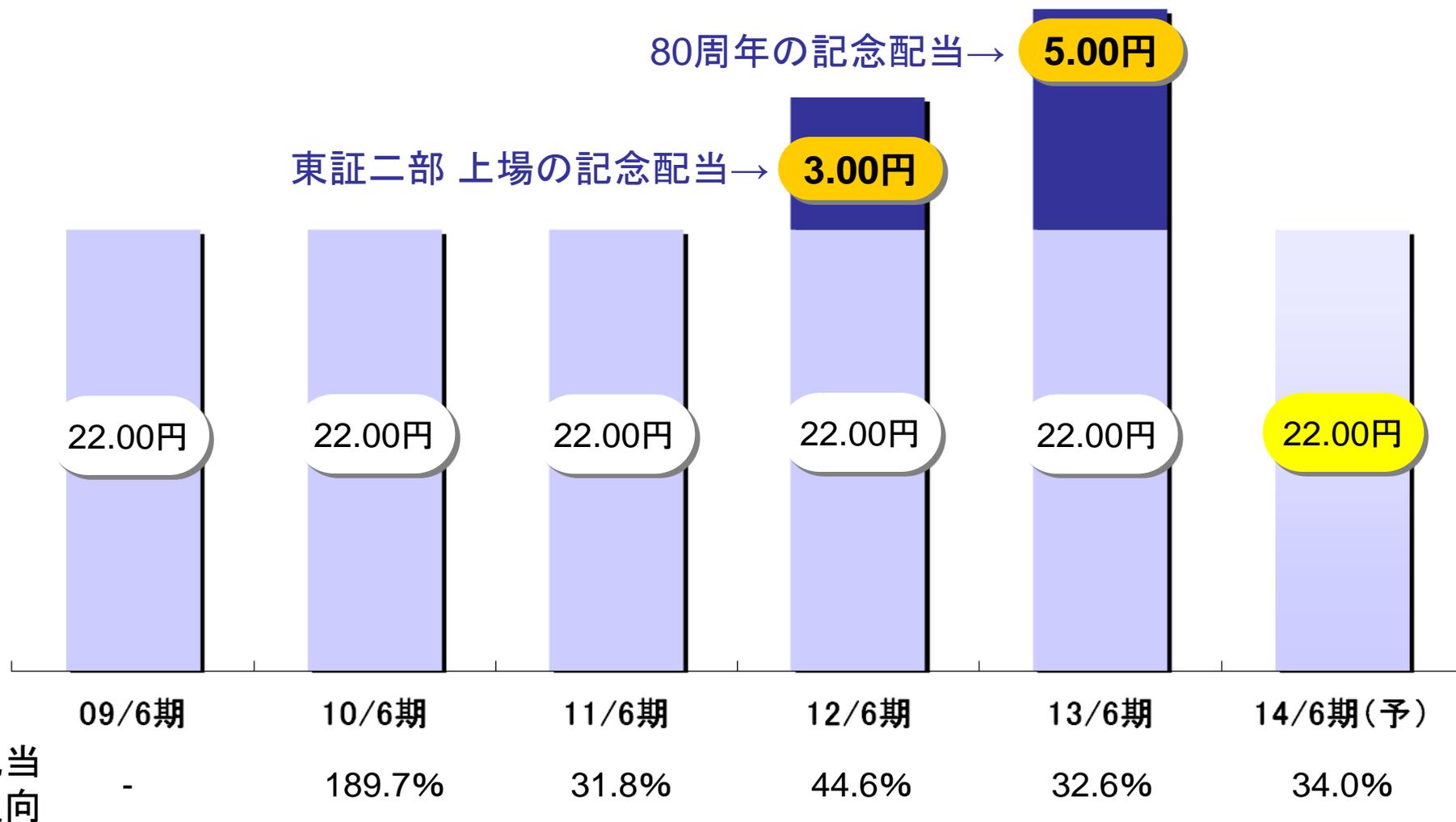


●所有者別株式分布状況



配当方針：安定した配当の実施を目指します

■ 1株当たり年間配当金 ■ 記念配当



配当性向

Being an “Only-One Company”

ご清聴ありがとうございました。

本資料は、当社の企業説明の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された推測や予測等は、本資料作成時点における当社の判断であり、情報の正確性を保証するものではありません。また、

今後予告なしに変更される場合があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知ください。

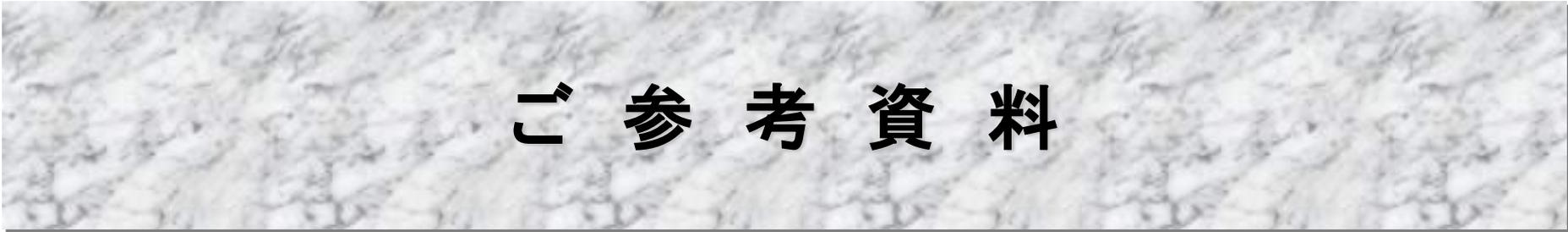
お問い合わせ

ir@suzukinet.co.jp



SUZUKI

代表取締役社長 **鈴木 教義**
専務取締役 **横山 勝登**

A horizontal rectangular area with a marbled paper texture, containing the text 'ご参考資料'.

ご参考資料

微細金型技術の徹底的な精度追求＝不可能への挑戦

10,000分の1ミリを追求する企業

経営理念

「不への挑戦」

「独自の技術融合」&「革新的な生産合理化の提案」で成長するR&D企業を目指します。

これからも“オンリーワン“であり続けること

創業
1933年

「鈴木製作所」として、主に鉱石ラジオの部品用金型を製作

1969年

台湾に合弁会社を設立 ～初の海外進出～

1974年

株式会社に組織変更し、株式会社鈴木となる

1992年

本社新工場が完成

2001年

日本証券業協会に株式を店頭登録(JASDAQ市場に上場)

2006年

住友電装との合弁会社S&Sコンポーネンツを設立。
自動車電装部品コネクタ事業の拡大へ

2007年

中国に合弁子会社鈴木東新電子(中山)有限公司を設立

医療分野事業への進出 ～医療機器組立事業～

2012年

東京証券取引所市場第二部に上場



